

# Financial Adviser

# 4

No.173

APR. | 2013

www.kindai-sales.co.jp

平成25年4月1日発行(毎月1回1日発行)  
平成11年6月14日第3種郵便物認可  
第15巻第4号通巻173号

The best proposals for the clients ファイナンシャル・アドバイザー

連載

知識のブラッシュアップに役立つ

FPマンスリーレポート

金融/社会保険/保険/税金/不動産

FP相談実践事例集

リスクマネジメント/タックスプランニング/不動産プランニング

特集

少額投資非課税制度

# 日本版ISA 制度の仕組みと課題

2013年10月申込受付スタート!

2014年1月制度開始!!

use it or lose it





# 笑顔相続の ススメ

第1回

エンディングノートは  
愛する家族への最後のラブレター

さんの部屋に向かいました。「コンコン」。しかし、部屋の中からは、返事がありません。

「Aさん、部屋の中に入りますよ」とホテルマンが大きな声で呼びかけながら、マスターキーでドアを開け、部屋に入りました。

ベッドに横たわるAさんを発見し、すぐに救急車を呼びましたが、息を引き取って、すでに数時間経っていたようです。「心臓発作」でした。

数日後に執り行われた50歳のAさんの葬儀は、たくさんの弔問客であふれていました。

葬儀から、1週間が過ぎましたが、大学1年と高校2年の子どもをどうやって育てていくのかを考える余裕さえ、B子さんには、まだありませんでした。夫の書斎を整理しなければと思いつつ、手を付ける気力もありません。

そんなある日、夫の書斎で、手帳を見つめました。手帳には、見慣れた几帳面な夫の文字。毎日の予定がびつしり詰まっていました。

夫が忙しい毎日を過ごしていたことを改めて実感し、もう少し優しい言葉をかけてあげればよかったと涙があふれてきました。

4月某日 成田でゴルフ。

夫の最後の予定。

このゴルフにさえ行かなければ、今も夫は生きていたかもしれない。

夫は、幸せだったのだろうか？

そんなことを考えながら、手帳をめくると、最後の数ページ前に「B子へ、私に万一のことがあったら、書斎の机の一番下の引出しを開けて見てください」という文字を発見しました。

ドキドキしながら、机の引出しを探すと、表に「B子様」と書かれた少し大きい封筒がありました。

封筒の中にはノートのようなものが入っており、表紙には「エンディングノート」と記載されていました。

「エンディングノート」を開くと、夫の少年時代の思い出や葬儀に呼んでほしい人など様々なことが書いてありました。もう葬儀は終わってしまったじゃないか、と心の中で夫を責めながら読み進むと、「愛するB子様」というページを発見。

『この文章を読んでいるということ、私に何か起こったということだろうか？』このところ、体調が良くないこともあり、エンディングノートというものを購入してみました。

(中略)

B子と結婚して20年、子どもたちもようやく手が放れ、この夏には2人で海外に旅行でも行こうと思っていたのに残念です。私はB子と結婚して、本当に幸せでした。

あとは、涙があふれて、しばらく読むことができませんでした。

B子さんは、何かモヤモヤとした胸のつかえがスツと取れた感じがしました。モヤモヤとした感情は、急死した夫は、本当に幸せだったのか？最後に聞いてみたかったんだということもわかりました。

夫のエンディングノートを読み、夫を亡くした大きな喪失感はあるものの、子どもたちと元気を出して生きていく気持ちになったそうです。エンディングノートは、愛する家族への最後のラブレターです。

あなたも大切な人を思い浮かべ、ぜひ、書いてみてください。



小川 実

一般社団法人相続診断協会  
代表理事

一般社団法人相続診断協会代表理事、税理士法人HOP代表社員、税理士。自ら笑顔相続の伝道師と命名している。キックボクシングが趣味で、休日は週に1回程度、ジムに通う。現在はK-1のレフェリーも務めている。